郷土愛が原動力

受け継がれる民俗芸能

市内には、地域の歴史や文化に培われた民俗芸能があります。それは、地域住民により連綿と受け継がれ、地域固有の文化として発展してきました。しかし近年は、少子高齢化や地域コミュニティーの衰退により、その担い手が不足しているのが現状です。こうした状況の中、貴重な地域の文化である民俗芸能を後世に伝えていこうと、若い世代が積極的に関わっている地域があります。

今月は、そうした中から9月に行われる入間川の「八幡神社鹿子舞」に携わっている方に、民俗芸能を通じた地域への想いを伺いました。

狭山の獅子舞

この童絵には、秋に奉納される「八幡神社鹿子舞」「入曽の獅子舞」「上赤坂の獅子舞」を表しています。

童絵／池原昭治氏

「八幡神社鹿子舞」（市指定無形民俗文化財）の継承に携わっている、入間川鹿子舞保存会の指田套一さん（90）と戸丸祥吾さん（19）にお話を伺いました。

――まず初めに、八幡神社鹿子舞について教えてください。

指田　八幡神社鹿子舞は、約370年前の江戸時代中期に始まったと伝えられています。その舞は「黒鹿子」「赤鹿子」の2頭の雄が、雌の「金鹿子」を奪い合うところから、仲直りするまでのようすを演じています。毎年9月に八幡神社を中心に、入間川地区にある8か所の社寺を巡り、舞を奉納しています。

――お二人の出身は。また、鹿子舞に関わってどのくらいになりますか。

指田　生まれも育ちも狭山市です。鹿子舞を始めたのは昭和24年で、20歳のときです。今年で70年目になります。

戸丸　私も狭山市で生まれ育ちました。小学生のとき、鹿子舞を見て、自分もかっこよく舞えたらいいなと思ったのが、始めたきっかけです。鹿子舞を始めて今年で10年目で、今は金鹿子を演じています。

――鹿子舞に関わることを、どのように思っていますか。

戸丸　地域の誇るべき文化を受け継ぐ一人として、気が引き締まります。鹿子舞を通じて地域のことを知ることができ、地域への愛着がより深まりました。

――やりがいを感じるのは、どのようなときですか。

戸丸　舞い終えると、子ども達が「鹿子さん！鹿子さん！」と寄ってきてくれます。地域の方から愛されていることが感じられ、やりがいになります。こうした気持ちを、ぜひほかの方にも感じてほしいと思っています。

指田套一さん（90）
鹿子舞と70年。人生の大部分を鹿子舞と過ごしたことになります

――戸丸さんのような若い方が会に入ってから、変化はありましたか。

指田　保存会には、戸丸君のほかにも小学生から高校生まで、多くの若い子がいます。若い子たちは、昔ながらのしきたりや筋書きに、戸惑うこともあると思いますが、一生懸命に学んでいます。地域の宝ですから、一人前に育ってほしいと願っています。教えるほうも一生懸命になります。また、私と戸丸君は歳の差が70歳ありますが、鹿子舞は、世代の違う者同士が出会える場でもあります。私は、若い子との交流で元気をもらっています。

――自分の住んでいる地域が好きで「地元で何かやりたいが、どうしていいか分からない」「踊れないけれど、裏方で手伝いたい」と思っている方もいらっしゃるかと思いますが。

指田　そう考えている人がいたら、遠慮しないで声を掛けてもらいたいと思います。きっかけはそれぞれですが、いざ始めてみると、みんな惚れ込んで一生懸命取り組んでくれますし、それが周りの人を動かすことにもなります。「手伝いだけでも」と参加してくれる方もいます。鹿子舞の活動を支えているのは、そうした方々の力です。

戸丸祥吾さん（19）
小学校の時、鹿子舞を見て、カッコいいと思ったのがきっかけです

――鹿子舞に携わっている方々の想いが、地域にもっと広がるといいですね。

指田　地域の文化は、地域全体で守り、みんなの力で育て、継承していくものです。鹿子舞に限らず、地域の行事などにも積極的に参加して、地域をみんなで盛り上げていってほしいですね。

戸丸　鹿子舞を通じて、地域を盛り上げる一役を担えることを光栄に思います。鹿子舞という民俗芸能を後世に伝えていくことが私たちの役目だと思っています。鹿子舞を地域に広め、少しでも多くの方が興味を持ち、参加してもらい、将来につなげていきます。

出掛けてみませんか

秋・冬に行われる主な民俗芸能・祭り

文化財の歳時記のページはこちらから

笹井豊年足踊り（市指定無形文化財）
日程10月13・14日（土・日）
伝承地笹井白鬚神社（笹井1962）

入曽の獅子舞（県指定無形民俗文化財）
日程10月20・21日（土・日）
伝承地金剛院（南入曽460）
入間野神社（南入曽641）

梅宮神社の甘酒祭り（県指定無形民俗文化財）
日程平成31年2月10・11日（土・日）
伝承地梅宮神社（上奥富508）

写真を募集しています

教育委員会では、地域の民俗芸能や行事などを記録として残すため、写真を募集しています。

お寄せいただいた写真は、市の資料として保存します。写真のサイズなどは問いません。

詳細はお問い合わせください。

問合せ社会教育課へ内線5675